

ねんど じぎょうけいかく
2023年度 事業計画
しゃかいふくしほうじん かい
社会福祉法人 かたるべ会

はじめに

コロナ禍、様々な活動を制限せざるを得ない状況が3年以上続いています。特に、販売活動、演劇活動、音楽活動、旅行やイベントなど、様々な活動を制限せざるを得ない状況が続いています。しかし、一方では感染対策が日常化し、多くの方々に感染対策の意識が浸透し、手洗い、消毒、マスク、換気などの基本的感染対策をはじめ、リモート会議、リモート販売、リモート旅行、リモート入社式、リモートイベントなど新しい活動様式を生み出すこともできました。また、これらのリモートを使った活動様式は、移動に支障がある方、遠方の方、大人数でのイベントなど、コロナ禍後も通常業務と並行して活用できるツールとして活動の幅を広げることができました。そして、今後も日常生活を更に活性化する必要があります。日常化している感染対策に対し、更に工夫を加え、新たな感染対策と新たな日常生活を生み出していく必要があります。

さらに、社員、入居者、ご家族は、コロナ禍のストレスに加え、差別、偏見、無理解などの社会的ストレスも受けています。人と人との関係が心を傷つけることがあります。心をいやすのも人との関係です。今後、心の健康に向けたコミュニケーションを活性化していきます。

また、今後、地球上では様々なことが想定できます。新型コロナウイルス以外にも、温暖化、気候変動、地震、差別、偏見など、様々な自然災害や人的災害が想定できます。SDGsにも力をいれていきます。

かたるべ会は、様々な状況の中でも「障がいがある無に関わらず普通に暮らせる社会」「誰もが楽しく、生き生きと暮らせる社会」を目指していきます。

ねんどじぎょうけいかく
2023年度事業計画のポイント

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

- (1) 感染対策の徹底
- (2) 感染対策を踏まえ、積極的な活動を展開する

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- (1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする
- (2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する
- (3) 個別支援会議、個別支援面談を深める
- (4) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

3、充実した社会生活に向けた取り組み

- (1) 本人が求める「社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する。
- (2) 本人が求める「生活」を見極め、実現に向け活動する。
- (3) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- (1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める
- (2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

5、健康に関する取組

- (1) 健康的な食事
- (2) 健康的な運動
- (3) 心の安定に関する取り組み

6、SDGsの取組

人間は地球からの恩恵を受け、生活しています。

海や大地、森林や空気、水などの恩恵を受け生活しています。しかし、温暖化、海洋汚染、水質汚染、大気汚染、森林破壊で地球が悲鳴をあげています。

人間の欲望が地球を壊してしまっているのです。

更に、人間は紛争や差別、飢餓や貧困、障がい者差別なども発生させています。

このままでは地球の未来はありません。

SDGsを実践し、障がいがある無に関わらず、普通に暮らせる社会を目指します。

そして、「誰もが楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し、切り開きます。

	SDGsとは国連サミットで採択された持続可能な 17 の開発目標
	(1) 貧困をなくそう ① 食材を大切に使う ② フェアトレード商品(公平・公正貿易)を購入、知る
	(2) 飢餓をゼロに(温暖化、干ばつ・・・) ① 節水、節電、リサイクル、ごみの分別と削減
	(3) すべての人に健康と福祉を ① かたるべ会で働く

	(4)質^{しつ}の高い^{たかい}教育^{いきょういく}をみんなに ① 環境^{かんきょう}や福祉^{ふくし}イベントなどに^{さんか}参加^{さんか}する
	(5)ジェンダー^{びやうどう}平等^{じつげん}を実現^{じつげん}しよう ① 家事^{かじ}を平等^{びやうどう}に分担^{ぶんたん}する
	(6)安全^{あんぜん}な水^{みず}とトイレ^{せかいじゅう}を世界中^{せかいじゅう}に ① 水道^{すいどう}の蛇口^{じゃくち}をこまめ^とに止める
	(7)エネルギーをみんなに そしてクリーンに ① 節電^{せつでん}する
	(8)働きがいも経済^{けいぎ}成長^{せいちょう}も ① 地元^{じもと}の商店^{しょうてん}から地元^{じもと}産^{さん}のものを^か買う
	(9)産業^{さんざん}と技術^{ぎじゆつ}革新^{かくしん}の基盤^{きばん}をつくろう
	(10)人^{ひと}や国^{くに}の不平等^{ふびやうどう}をなくそう ① いじめや差別^{さべつ}をしない、させない
	(11)住み続けられるまちづくりを ① 地域^{ちいき}交流^{こうりゅう}する
	(12)つくる責任^{せきにん} つかう責任^{せきにん} ① 賞味期限^{しょうみきげん}が短い^{みじか}ものから購入^{こうにゅう}する ② 食べ残^{たのこ}しをしない、余り食材^{あま しょくざい}を^{かつよう}活用^{かつよう}する
	(13)気候^{きこう}変動^{へんどう}に具体的^{ぐたいてき}な対策^{たいさく}を ① リサイクル、ごみの分別^{ぶんべつ}と削減^{さくげん}、ペーパーレス化^か ② バイオマスゴミ^{ぶくろ}袋^{ふくろ}などを使用^{しよう}する ③ 出来るだけ公共^{で き}交通^{こうきょう}機関^{こうつうき かん}を利用^{りよう}(排気^{はいき}ガス削減^{が さくげん})

 14 海の豊かさを 守ろう	(14)海の豊かさを^{うみ ゆた}守ろう^{まも} ① マイバック、マイはし、マイボトルを^{つか}使う ② レジ^{ぶくろ}袋やプラスチック製品^{せいひん}を使^{つか}わない
 15 陸の豊かさも 守ろう	(15)陸の豊かさも^{りく ゆた}守ろう^{まも} ① 毛皮^{けがわ}や牙^{きば}などを使^{つか}った製品^{せいひん}を買^かわない ② 飼え^かなくなったペット^{のやま}を野山^すに捨^すてない ③ 食肉^{しよくにく}、乳製品^{にゅうせいひん}の購^{こう}入^{にゅう}を控^{ひか}える(買^かわない)
 16 平和と公正を すべての人に	(16)平和^{へいわ}と公正^{こうせい}をすべての人^{ひと}に ① 国際紛争^{こくさいふんそう}や平和^{へいわ}に関する記事^{きじ}を読^よむ ② 被爆地^{ひばくち}や被災地^{ひさいち}を訪^{ほう}問^{もん}する
 17 パートナースHIPで 目標を達成しよう	(17)パードナースHIP^{もくひょう たっせい}で目標^{もくひょう}を達成^{たっせい}しよう ① SDGs^{かんれん}に関連^{じょうほう}する情報^{じょうほう}を SNS など^{かくさん}で拡散^{かくさん}する
かたるべ^{かい}会^{かい} の行動^{こうどう}	① 誰^{だれ}もがわかりやすい表^{ひょうげん}現^{げん}を使^{つか}う ② UD フォントなど見^みやすく大き^{おお}きめな文字^{もじ}を使^{つか}う ③ カルチャーチェンジ指針^{ししん}の实践^{じっせん} ④ 信頼^{しんらい}関係^{かんけい}の持^もてる環^{かん}境^{きやう}を実^{じつ}現^{げん}する ⑤ 誰^{だれ}もが普通^{ふつう}に暮^{くら}らせる社会^{しゃかい}を実^{じつ}現^{げん}する

2023年度 第1かたるべ社事業計画

【目 的】

日中活動^{にちゅうかつどう}を通じて充^{つう}実^{じゅうじつ}した日々^{ひび}を送^{おく}るとともに、一人ひとり^{ひとり}が違^{ちが}いを認^めめ合^あい、
生^いきがいの持^もてる人生^{じんせい}に向^むけた支^し援^{えん}をする。

【事業内容】

生活介護事業^{せいかつかいごじぎょう} 20名^{めい}

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

(1)感染対策の徹底

・作業室^{さぎょうしつ}のレイアウト、密^{みつ}を避^さける工夫^{くふう}、マスク着^{ちゃく}用^{よう}、手指消毒^{しゆししやうどく}、換^{かん}気^きの徹^{てつ}底^{てい}

(2)感染対策を踏^ふまえ、積極^{せっきよく}的な活^{かつ}動^{どう}を展^{てん}開^{かい}する

- ・健康管理を徹底し、控えていた販売活動などを再開していく

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1)個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする。

- ・本人、ご家族、関係者から深く話を聞く機会を作る

(2)個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・自己実現ができるような環境を考えて支援を行う

(3)個別支援会議、個別支援面談を深める

- ・自己実現に向けて繰り返し意見交換をし、考えを深めて実践していく

- ・状況に応じて、Zoom等のオンライン面談も行う

(4)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・個別に関わる時間をつくり、信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする

- ・ご家族同士の面談を必要に応じて行う

3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1)本人が求める「社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する。

- ・受注作業

企業から受注する軽作業(シール貼り、梱包、封入、ポスティング作業等)

行政から受託する公園や歩道、市内の小中学校のプール、エアコン、窓清掃

鴨居自治会の回覧セッティング作業

- ・自主製品作り 販売活動

アロマ用品、キーホルダー、アクセサリ等の製作

事業所販売、お祭りなど地域のイベントで販売する

Twitter、インスタグラム、を使用した広報活動をする

- ・就労支援、職域開拓

ボランティア活動、企業見学、実習、企業への応募等に取り組む

演劇、絵画、イラスト、ユーチューバーなど職域開拓を意識した活動をする

(2)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・個別のコミュニケーションを増やし、一人ひとりが活かされた活動をする

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1)関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

- ・日頃から、地域の方と顔の見える関係を深めていく

- ・町内会の自治会活動に参加を検討していく

5、健康に関する取り組み

(1)健康的な食事

- ・健康を意識した食事の提案を行い、健康維持できるよう支援していく

(2)健康的な運動

- ・河川敷のウォーキングや清掃など体を動かす活動を日々取り入れていく

(3)心の安定に関する取り組み

- ・心の安定や、健康に関する意識を個別に取り入れる

6、SDGsの取組

- ・ゴミの分別、バイオマスのゴミ袋を使用
- ・マイ箸、マイバック、マイボトルを使用
- ・自主製品制作の時、環境に配慮した製品作りを意識する
- ・フードバンク、フードドライブの活動をする

7、「日程表」

8:55 ラジオ体操

9:00 朝礼

10:30 10分休憩

10:40 作業再開

12:00 昼食

13:00 作業開始

15:00 20分休憩

15:20 作業再開

16:15 作業終了・清掃

16:30 終礼

17:00 解散

2023年度 第2かたるべ社事業計画

【目的】

一人ひとりの強みを活かし、充実した社会的労働の追求と関係機関との信頼関係（相互理解）を深める。また、生きづらさに注目し、心の安定と楽しく生きがいの持てる人生となるように支援する。

【事業内容】

生活介護事業 25名

就労継続支援B型事業 12名

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

- ・外部活動などを積極的に取り入れ、事業所内の3密の予防に努める。
- ・オンラインサービスを活用して接触の機会を減らす
- ・マスク、パーテーション等を利用し飛沫感染の防止に努める。
- ・事業所内の換気
- ・消毒やアプリを利用した検温確認など必要な感染対策の徹底。

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ・個別支援面談でご本人やご家族の抱える「生きづらさ」を確認し必要な支援を明らかにする。
- ・ご本人を取り巻く状況を理解し、楽しく生き生きと暮らせる環境を模索、提案していく。

3、充実した社会生活に向けた取り組み

- ・本人の強みを活かした「社会的労働」を受注・清掃・販売を中心にして追求していく。
- ・コロナ禍においても、労働の保証を意識する動きを継続する。
- ・外部活動にも積極的に取り組み、より充実した労働環境と選択肢の提示を目指す。

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・第2かたるべ社で取り組んでいる社会的労働を通じ、地域を含む様々な人や機関と信頼関係(相互理解)を深めていく。
- ・取引先との相互理解が深まる活動を継続していく。
- ・地域にあるプロレス団体(大日本プロレス)と一緒にコロナ禍でも行う事ができる活動を模索する。
- ・YouTube や Instagram を活用し、活動内容や取り組みを発信する

5、健康に関する取り組み

- ・健康的な食事
健康を意識し、栄養のバランスを意識した食事の提案を行う。
- ・健康的な運動
ウォーキングなど運動を意識した取り組みや支援を行う。
外での清掃活動に積極的に取り組む。

・心の安定に関する取り組み

○コロナによる心の健康に注意し、心身の健康維持に必要と思われる
取り組みを実行する

○各々の環境や状況の違いに配慮し、必要なサポートに取り組む

6、SDGSの取り組み

- ・マイボトルやマイバック、マイ箸など使用の推奨。
- ・外部活動で可能な限り「バイオマスゴミ袋」を使用
- ・社員職員ともに「節電」を意識した取り組み

7、日程

9:00 作業・活動

10:30 休憩

10:40 作業・活動

12:00 昼食

13:00 作業

15:00 休憩

15:20 作業・活動

16:30 掃除

16:50 ミーティング

17:00 解散

※コロナの影響もあるので、活動時間・内容は状況により変更あり

2022年度 第3かたるべ社(居場所作り支援)事業計画

【目的】

引きこもりがちな方、社会との接点が少ない方、一般的な福祉の環境に抵抗がある
方など個々の状況に応じて対応を行うことで、それぞれの居場所ができること。

【事業内容】

就労継続支援B型事業 20名

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

(1)感染対策の徹底

・手指消毒、手洗いうがい、マスク着用の声かけ。

・短期入所職員と連携し建物内を消毒、定期的に室内換気をする。

・出勤前と午後に検温し、リーバー(健康観察アプリ)入力する。

・社員出勤時は玄関口で検温と健康観察を行う。

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

・個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにし本人、ご家族、職員で必要な支援を考えて話し合い実践する。

・個別支援会議、個別支援面談を深め、本人の気持ちに寄り添った支援を行う。

・引きこもり、暴力、お金に対する拘り、精神的不安定、行動制限等の生きづらさがある人を中心に関係者で集まり、その方に合った「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索する。

3、充実した社会生活に向けた取り組み

・生活面や精神面が原因で通所が安定しない方の対応を模索し、通所のきっかけを作る。

・個々の価値観や環境の違いを認め合い、安心して活躍できる居場所を作り、その方に合った「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索する。

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

・一般家庭からの不用品回収や近隣企業からの受注仕事を通じて地域との信頼関係(相互理解)を深める。

・美化活動(庭の草むしり)や地域清掃を通じて、地域で暮らされている方との信頼関係(相互理解)を深める。

・関係機関と連携し地域で居場所がない方の実習や新規受け入れ態勢を作る。

・様々な機関や支援者との信頼関係(相互理解)を深める。

5、健康に関する取組

・健康面を意識したバランスの取れた食事を提案する。

・一人暮らしの方に健康面と衛生面の支援。

・活動にスポーツ活動や川治いの散歩を取り入れ、心の安定を図る

6、SDGS の取組

・ご家庭で不要になった衣類や雑貨を回収し、リサイクル品として販売する。

・古紙からリサイクル品販売用の値札やメッセージカードを作る。

・マイ箸、マイボトル、エコバックを使用する。

・ゴミを正しく分別する。

・ゴミ袋にバイオマスポリ袋を使用する。

7、「日程表」

10:00 活動
12:00 昼食
13:00 掃除
13:30 活動
15:00 休憩
15:20 活動
16:30 掃除
16:50 ミーティング
17:00 解散

2023年度 ジャスミン事業計画

【目的】

社員とご家族と深くコミュニケーションを取って、否定しない、社員とご家族のことを受け入れ、支援していく。また新しいチャレンジにより、一般社会と障害者の相互理解を深めていく。

【事業内容】

就労継続支援B型事業 26名

【活動内容】

1. 新型コロナウイルス感染予防の徹底

(1) 距離を置いて気を付けて作業をする。

(2) マスク着用と換気

(3) 手指消毒、トイレ消毒。車の消毒。毎日に行う。

(4) 検温など 健康管理の徹底

・毎日出勤する前 リーバーにより体温の確認をする。

2. 生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

・個別支援面談でご本人とご家族の生きづらさを気づき、そのためご本人ご家族と職員と連携して、支援していく

・職員と社員と一緒に新しいことをチャレンジにより楽しく生き生きと暮らせる環境を模索する。

3. 充実した社会生活に向けた取り組み

① 販売活動

はんばい けいしき
・販売の形式

ジャスミン店頭販売 わくわく広場、yahoo のネットショップ 夢カフェでの販売、
養護学校の販売 老人ホーム販売 グループホーム センター北駅の販売

はんばいしょうひん
・販売商品

ちゅうかしよくひんしよくぶつげんりょう オムニミートまん、ぎょうざ げつぺい パイケーキ、クルミクッキー

せいそうかつどう
②清掃活動

ちい き せいそうかつどう ひ つづ おこな
・地域で清掃活動を引き続き 行 う。

しんらいかんけい そうごりかい も しゃかい と く
4. 信頼関係(相互理解)の持てる社会にむけた取り組み

ぜんいんさんか きげき
・全員参加の喜劇を作る、youtube にアップする

しゃいん かつどう
・社員のありのままの活動を youtube にアップする

けんこう かん と く
5. 健康に関する取り組み

ベジタリアン料理を毎日に実施する

たいきよくけん
・太極拳:

おんがくかつどう
・音楽活動

しんりんよく
・森林浴

まいしゅうじっし
毎週実施する

と く
6. SDGS への取り組み

しよくざい たいせつ つか
・食材を大切に使う

やさ い まる つか そとがわ しん つか
お野菜を丸ごと使う 外側と芯をミキサーしてスープやカレーに使う。

しょつき あら と き みず た あら
食器を洗う時、水を貯めて洗う。

ふる ぞうきん つく ふる ぎ か ものぶくろ つく ぎゃく ていきょう
・古タオルで雑巾を作る 古着で買い物袋を作ってお客さんに提供する。

ねん ど じぎょうけいかく
2023年度 うれしの事業計画

もく てき
【目 的】

こ こ じょうきょう おう しゃかいてきろうどう ちゅうしん さまざま かつどう おこな なか ところ あんてい
個々の状況に応じ、社会的労働を中心とした様々な活動を行う中で、心の安定
と充実した生活、そして生きがいの持てる人生となるよう支援する

じぎょうないよう
【事業内容】

せいかつ かい じぎょう めい
生活介護事業 30名

しゅうろうけいぞくし えん がたじぎょう めい
就労継続支援B型事業 15名

しゅうろうい こうし えん じぎょう めい
就労移行支援事業 6名

かつどうないよう
【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

(1) 感染対策の徹底

- ・検温、消毒、マスクなど基本的な感染対策をし、健康管理の徹底
- ・室内のレイアウトを工夫し、換気を徹底する

(2) 感染対策を踏まえ、積極的な活動を展開する

- ・感染対策、健康管理を徹底し、駅前やイベントでの販売活動に参加する
- ・状況に応じて、Zoomを活用し、活動に参加する機会を増やす
- ・感染対策をして対面の会議や面談を行い、状況によってZoomも活用する

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする。

- ・本人、ご家族、関係者と話をする機会を積極的につくっていく

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・自己実現ができるような環境、信頼関係を築いて支援を行う

(3) 個別支援会議、個別支援面談を深める

- ・繰り返し意見交換をし、常に考え続けて実践していく
- ・状況に応じて、Zoom等のオンライン面談も行う

(4) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・一人ひとりの強みに注目し、褒め合うミーティングを行う(オープンダイアログ)

3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1) 本人が求める「社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する。

- ・全員が適材適所で仕事に参加できるように支援する
- ・活動内容

食品製造(ランチ、お菓子づくり、精米)

販売活動(鴨居駅、川和町駅、スポーツセンター、あおば支援学校他)

作業(食品梱包用品製造、紙すき、受注作業他)

自主製品(ストラップ、ハロウィンやクリスマスなどイベントに合わせた商品製造)

ツイッターやインスタグラムを活用した広報活動

就職に向けた活動(企業見学、実習、応募)

(2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・YouTuber など、一人ひとりが活かされた活動
- ・アートや表現活動など自由な発想を大切にする

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

・川和町内会と積極的に関わり、信頼関係(相互理解)を深める

・プロバスケットボールチーム 横浜ビー・コルセアーズと連携し、相互理解を深める

5、健康に関する取り組み

(1) 健康的な食事

・毎日、栄養のバランスのとれた食事を提供する

・栄養のバランスのとれた食事とお菓子のメニュー開発

(2) 健康的な運動

・体操や運動、河川敷のウォーキングなど体を動かす活動を日々取り入れる

(3) 心の安定に関する取り組み

・音楽や瞑想などを日々取り入れる

6、SDGsの取組

・ゴミの分別と削減を意識する、バイオマスのゴミ袋の使用

・マイ箸、マイバック、マイボトルを使う

・地元の東屋豆腐店から積極的に食材を仕入れる(国産大豆使用)

・食肉、乳製品の購入を減らす(牛乳→豆乳など)

・オムニミートなど代替肉を使用したメニューを取り入れる(ジャスミンと連携)

・ペーパーレス化(お知らせや資料はデータで配布、共有)

7、「日程表」

9:00 ミーティング

9:20 かたるべ体操

9:30 作業開始

12:00 昼食

13:00 作業開始

15:00 おやつ

15:20 瞑想、オープンダイアローグ

16:00 解散

2023年度 うれしの児童放課後等デイサービス事業計画

【目 的】

学校在学中の児童・生徒に対して、放課後や長期休み中において個々の特性に応じた支援を行い、心豊かに成長や発達を育むお手伝いをする中で、子供とご家族が笑顔になれる場、そして生きがいの持てる人生となるよう支援する

【事業内容】

放課後等デイサービス(障害児通所支援事業)

定員10名/日

登録数19名(予定)

対象者:小学校から高校生までの放課後等デイサービス受給者証所持者

地域:横浜市全域

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

(1) 感染対策の徹底

・マスク、手洗い、消毒、検温、換気を促す

(2) 感染対策を踏まえ、積極的な活動を展開する

・感染対策をして外での活動も充実させる

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

・ご本人の生きづらさ(壁)だけではなく家族の生きづらさ(壁)も明らかにする。

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

・身体拘束やルールで行動の制限が必要な場合は個別支援計画に明記するが、それに替わる支援を常に模索する

(3) 個別支援会議、個別支援面談を深める

・児童・生徒およびご家族との信頼関係を深める

・個別支援計画にて、児童・生徒の将来展望を深める

・適切な親子関係に向けた支援(親子の信頼関係を深める)

・将来展望を見据えた見学と研修は感染予防に配慮し行う。

(日中活動施設、グループホーム、障害者雇用)

・将来展望を見据え、短期入所との連携

(4) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・生き生きと暮らせる将来展望を描く

3、「放課後等」の充実に向けた取り組み

(1) 個々の特性に応じた支援

・各自の特性と興味に応じたプログラムの提供(運動、音楽、ゲーム、工作、アート、個別対応など)

(2) 社会適応支援

・プログラムを通して人間関係、ルールを守ることの大切さを育む

(3) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・家庭でも落ち着いて過ごせるよう充実したプログラムを提供する

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

・関係機関と情報共有、支援を補い合いながら信頼関係を深める

(2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・ご家族の生きづらさ(壁)について各関係機関で出来ることを模索する

5、健康に関する取組

(1) 健康的な食事

・栄養バランスのとれたおやつを提供

(2) 健康的な運動

・プログラムの中で適度な運動を行う

(3) 心の安定に関する取り組み

・心の安定を図るためオープンダイアログを行う

6、SDGsの取組

・工作で出た廃材も再利用できるか模索する

・違いを認め合い、いじめや差別をしない

7、「日程」

・送迎(学校または自宅からうれしの)

・個別の対話(連絡帳チェック)

・手洗い、おやつ

・各プログラムに分かれて活動

・帰りの会(オープンダイアログ)

・送迎(うれしのから自宅)

えいぎょうにちじ げつようび きんようび
・営業日時 月曜日から金曜日 9:00～17:00

2023年度 ひまわり工房事業計画

【目的】

各自が生きがいをもって社会生活に参加できる様、一人ひとりの強みに注目する。
違いを認め合う文化をつくりだせる様支援する。

【事業内容】

せいかつか いごじぎょう ていいん めい
生活介護事業 定員20名

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

(1)「密集」「密接」「密閉」を避ける

- ・作業室のレイアウトを向き合わないようにする。
- ・食事の時もレイアウトを向き合わないようにする。

(2)マスクの着用を徹底、換気

- ・活動時、送迎時でも出来る人はマスク着用。
- ・二酸化炭素濃度測定器を使用して風の流れを工夫し効率良い換気を行う。

(3)手指消毒、ドアノブなど、手に触れる部分の消毒

- ・社員、職員、来客の手指消毒、玄関口、ドア等の消毒徹底。

(4)検温など、健康管理の徹底

- ・健康観察アプリ等を使用して、体温確認。(出勤前、出勤時、午後)

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1)個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする。

- ・本人、ご家族、関係者から深く話を聞く機会をつくっていく。

(2)個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・生きづらさに対して必要な援助、環境を考えて支援計画を作成する。

(3)個別支援会議、個別支援面談を深める

- ・本人が自分の考えを表せるよう選択肢の提示など工夫をして、考えを深めて実践していく。

- ・状況 に応じてZoom等のオンライン面談も行う。

(4)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・社員、ご家族、職員 に関わらず信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。
- ・全体ミーティングを行い事業所でできることを考えていく。

- ・主体的な活動ができるよう、個人個人の役割を明確にする。
- ・一人ひとりが活躍できるような活動を模索する
- ・家族会を開く(コロナの状況次第で少人数で分ける、リモート等)

3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1)本人が求める「社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する。

・アート活動

絵や創作品の作成。

作品の販売、企業や公共機関へのレンタル。

イメージーションを広げるため、自然の中で写生や作品の素材集め等。

SDGsを意識した廃棄物からのアート作品作成、海や河原での素材集め。

作品の販売会やワークショップ等を行い、アートを通して社会から必要性を実感出来るような活動を考えていく。

(2)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・一人ひとりが活かされた活動をする。

・一人ひとりが満足感をもって過ごせる一日の活動を目指します。

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1)関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

・川和町内会との信頼関係(相互理解)を深める。

・地域の方と顔の見える関係を深めていく。

・関係機関との信頼関係(相互理解)を深める。

5、健康に関する取り組み

(1)健康的な食事

・毎日、栄養のバランスのとれた食事、おやつを提供する

(2)健康的な運動

・体操や屋外での活動を取り入れる。

(3)心の安定に関する取り組み

・瞑想やオープンダイアログを行う。

6、SDGsの取組

・ゴミの分別(業者に確認し、家庭ごみと事業ごみの違いを理解して、取り組む)

・バイオマスのゴミ袋使用

・マイ箸、マイバック、マイボトル

・廃棄物からのアート制作。

7、「^{にっていひよう}日程表」^じ9時～16時

9:00 ミーティング

9:20 かたるベ^{たいそう}体操

9:30 ^{さぎようかいし}作業開始

10:30 ^{きゆうけい}休憩

12:00 ^{ちゆうしょく}昼食

13:00 ^{さぎようかいし}作業開始

15:00 おやつ

15:20 ^{めいそう}瞑想およびオープンダイアログ

16:00 ^{かいさん}解散

2023^{ねんど}年度 ^{きやうどうせいかつえんじよじぎようけいかく}共同生活援助事業計画

【^{もく}目 ^{てき}的】

^{にゆうきよしゃひとり}入居者一人ひとりの^{いし}意思、^{じしゆせい}自主性を^{そんちよう}尊重し、^{にゆうきよしゃ}入居者の^{たちば}立場に^{しつ}たった^{たか}質の高い^{えんじよ}援助と^{しんしん}心身の^{けんこうほじ}健康保持に^{つと}努め、^い生きがいの^も持てる^{じんせい}人生となるよう^{しえん}支援する

^{ここ}個々の^{じやうきやう}状況に^{おう}応じ、^{せいしんてき}精神的、^{けいざいてき}経済的^{しえん}自立を支援する

^{さまざま}様々な^{じやうきやう}状況の中でも「^{なか}障がいがあるなしに^{しやう}関わらず^{かか}普通に^{ふつう}暮らせる^く社会」「^{しゃかい}誰もが^{だれ}楽しく、^い生き生きと^い暮らせる^く社会」を切り開く

【^{じぎやうないよう}事業内容】

^{きやうどうせいかつえんじよ}共同生活援助

・^{かく}各ホーム^{ていいん}定員

^{しゆ}主たる^{じぎやうしよ}事業所 ^{めい}ハイツマモル 7ホーム ^{ていいんごうけい}定員合計41名

^{めい}グリーンハイツ6名 ^{めい}アムール6名 ^{めい}ハイツマモル5名

^{めい}アローズ6名、^{めい}フレンズ6名、^{めい}ビット6名、^{めい}ルークス6名

^{しゆ}主たる^{じぎやうしよ}事業所 ^{めい}セルフィッシュ 7ホーム ^{ていいんごうけい}定員合計38名

^{めい}セルフィッシュ6名 ^{めい}ビーンズ6名 ^{めい}フォレスト6名 ^{だい}第2ビーンズ2名

^{めい}アポロ6名、^{めい}フラット6名、^{めい}リーフ6名

^{しゆ}主たる^{じぎやうしよ}事業所 ^{めい}ジャスパー 3ホーム ^{ていいんごうけい}定員合計17名

^{めい}ジャスパー6名 ^{めい}マモルハウス5名、^{めい}スカイ6名

^{じぎやうしよ}3事業所 ^{ごうけい}17ホーム ^{めい}合計96名

【^{かつどうないよう}活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

(1) 感染対策の徹底

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、検温や手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの声掛け、換気、ホーム内の消毒の実施
- ・食事は、時間をずらし、向かい合わないように対応、アクリル板の設置
- ・通院に関しては、遠隔診療や薬の受け取りなど職員が代行する
- ・検査等で通院が必要な際は病院内での滞在時間が短くなるよう考慮し、アルコールを持参しながら感染対策を徹底する

(2) 感染対策を踏まえ、積極的な活動を展開する

- ・リモートを利用した活動や地域、時間、人数を考慮した行事や活動への参加

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・社会生活をする上で、障碍となることを明らかにする

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・行動規制やルールではない、自己実現に向けた支援について熟慮する

(3) 個別支援会議、個別支援面談を深める

- ・日頃よりコミュニケーションを図り信頼関係を築く

- ・個別支援会議では本人の立場に立って、本人の意思を尊重しながら

おこなう

- ・入居者一人ひとりの自己実現に向け、試行錯誤を繰り返す

(4) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・障がいのあるなしに関わらず、違いを認め合い、相互理解を深め合えるよう

な雰囲気作り

- ・コロナ禍でリモート、ネット環境などを利用した余暇の充実

3、充実した社会生活に向けた取組

(1) 生活

- ・グループホーム、一人暮らし、結婚など、普通の生活を実現(基本理念)

- ・グループホームは、地域の自治会活動に積極的に関わり、相互理解を深める

- ・障碍がある無しに関わらず、相互に助け合える地域社会実現に向け活動

(2) 余暇

- ・自分の意思で、自分の時間を自由に過ごせる環境を実現(基本理念)

- ・地域の中で、普通に利用できる余暇環境と人間関係を実現

・余暇のコーディネートを行う

・社会資源の提示、ガイドヘルパー派遣の連絡調整を行う

コロナウィルスの感染対策を考慮しつつ入居者が日々充実した生活をおくれるよう模索する。

ガイドヘルパー利用で近隣の散歩や買い物、リモートでイベント鑑賞など。

(3)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・それぞれの違いを認め合い尊重し合い個々に合った環境を検討していく

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

(1)関係機関との信頼関係(相互理解)を深める

より細やかな連携を密に取り関係性を深め各種機関との共有を図る

(2)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

コロナウィルス感染症対策として、地域に関しても行事や清掃活動等が中止になっていることも多々あるが地域活動等行われる際には時間や場所、人数等を考慮しながら積極的に社会参加をする

5、健康に関する取り組み

(1)健康的な食事

・栄養バランスのとれた食事をサポートする

・職員は定期的に食品衛生責任者講習を受ける

(2)健康的な運動

・余暇の過ごし方を意識する

(3)心の安定に関する取り組み

・個別の相談をしっかりと聞けるように一人ひとりの時間を大切にする

・リラックス出来る環境作りを行う

6、SDGS の取り組み

・節水や節電、リサイクル、ゴミを少なくすることなどホーム内で取り組めることを入居者と一緒に考えていく

・マイボトル、マイ箸、エコバックを利用する

・ゴミの分別の徹底・ゴミの捨て方に気を付ける(生ごみ、お茶のパック等は水分をよく切ってから捨てるなど)

・食材を無駄にしないように購入する・地元産のものや環境に優しい食材を選ぶ

・バイオマスゴミ袋を活用する

7、緊急時の対応

・入居者の生命、安全を第一に考えた速やかな対応をとれるよう AED、防災、避難訓練を定期的に行う。

・定期的に防災用品を確認し緊急時に備える

8、一人暮らしへ移行した人への支援

・金銭管理方法、買い物、手続き、食事、健康面、近隣との関係等必要に応じた生活の援助を行う。

コロナウィルス感染症対策として、対面ではなく電話で状況を確認。

必要に応じて対面支援を行う。

2023年度 生活本舗事業計画

【目的】

一人ひとりが自立した生活と、生きがいを持てる様な活動を目的とし、地域の中で普通に利用できる余暇環境と相互理解の実現を目指す。

【活動内容】

あそび本舗

(1) 充実した社会生活に向けての取り組み

・コロナウィルスの状況が落ち着いたと判断できる状況になり次第段階的に取り組みを再開していく。

・インターネットを使ったイベントや活動など、コロナ禍で取り組める情報を必要とする事業所に発信する。

(2) 信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

・コロナウィルスの状況を見ながら、出来る活動に取り組んでいく。

2023年度 短期入所事業計画

【目的】

個々の状況やご家族の状況に配慮したレスパイトを目的とし、個々に応じてその後の生活基盤の構築も目的とする

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

(1) 密を避ける

(2)マスクの着用を徹底、換気

(3)手指消毒、ドアノブなど、手に触れる部分の消毒

(4)定時検温など、健康管理の徹底

(5)利用前の健康情報確認

(6)食事は時間をずらすか各居室にて食する

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1)個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする。

特に外部の方は個別面談で各自の「生きづらさ(壁)」を明らかにする

(2)個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する。

所属先の支援計画に記載されている、生きづらさに対する支援を深める。

(3)個別支援会議、個別支援面談を深める。

利用する人の事業所の個別支援計画を確認する。

定期的に利用する人は、所属事業所で行われる個別支援会議等に参加させてもらう。

(4)「楽しく生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く。

特に利用する回数の少ない方はまず本人を良く知る事から始める。

3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1)本人が求める「生活」を見極め、実現に向けて活動する。

一時的に泊る場所ではあるが、家から離れた生活を経験してもらう事で本人、家族にも「自立」を感じてもらえる場所となるよう意識する。

(2)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く。

「自立」を感じってもらう事で、グループホーム入居や一人暮らしに向けて、わくわく出来るような場所になってもらえる様に意識する。

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1)関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

不特定の事業所等からの利用も多いのでしっかりと所属先の機関と連携が取れる様にコミュニケーションを図っていく。

(2)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

短期入所という限られた空間でも、楽しく過ごせる事を提案していく。

5、健康に関する取り組み

(1)通所先や家庭と健康状態の情報を共有する。

(2)状況に応じて服薬支援をする。

(3)状況^{じょうきよう}に応じて通院支援^{おう つういんしえん}を行う。

(4)栄養^{えいよう}バランスのとれた食事^{しょくじ}を提供^{ていきよう}する。

6、SDGS の取り組み

(1)食材^{しょくざい}の検討^{けんとう}、食材^{しょくざい}を無駄^{むだ}にしない。

(2)買い物^{か もの}の際はエコバック^{さい}の使用^{しよう}。

(3)節水^{せつすい}、節電^{せつでん}。

(4)リサイクル^{ぶんべつてい}、ゴミの分別徹底^{さくげん}と削減。

(5)バイオマスゴミ^{ぶくろ}袋^{しよう}の使用。

2023年度 相談支援事業計画^{ねんど そうだんし えんじぎょうけいかく}

【目 的】

主体的な生活^{しゅたいてき}を支える^{せいかつ}為^{ささ}のサービス利用調整^{ため りよう ちようせい}を図^{はか}る為^{ため}、事業所間^{じぎょうしょかん}で支援方針^{しえん ほうしん}のずれのない計画相談支援^{けいかくそうだんし えん}を行う^{おこな}

【対象者】

障 碍 福 祉 サービス^{しょうがいふくし}または地域相談支援^{ちいきそうだんし えん}を利用^{りよう}する方々^{かたがた}

【活動内容】

1、新型コロナウィルス、感染予防^{かんせんよぼう}の徹底^{てつてい}

面談^{めんだん}、モニタリング^{かのう}は可能^{かぎ}な限りZOOM等^{とう}リモートで行^{おこな}う

2、生きづらさ^いに(壁)^{かべ}に対するサポート^{たい}の強化^{きょうか}

(1)個別面談^{こべつめんだん}、モニタリング^{かくじ}で各自^いの生きづらさ^{たい}に対する計画^{けいかく}を作成^{さくせい}して振り返^ふる

(2)所属する事業所^{しよぞく}で作成^{じぎょうしよ}している支援計画^{さくせい}と方向性^{しえん けいかく}を揃^{ほうこうせい}えて、生きづらさ^{そろ}に対^いする支援計画^{しえんけいかく}を深^{ふか}める。

(3)本人^{ほんにん}、ご家族^{かぞく}、職員^{しょくいん}がお互^{たが}いの違い^{ちが}いを認め合^{みと}う事^あが出来^{こと}る様^でな個別支援会^{よう こべつ しえん かい}議^ぎや面談^{めんだん}を意^い識^{しき}する。

(4)主体的^{しゅたいてき}に楽^{たの}しく生^いき生^いきと暮^くらせる様^{よう}に本人^{ほんにん}の希^き望^{ぼう}を掘^ほり下^さげる。

3、充実^{じゅうじつ}した社会生活^{しゃかいせいかつ}に向^むけた取^と組^くみ

(1)本人^{ほんにん}が求^{もと}める「社会的労働^{しゃかいてきろうどう}」を見極^{みきわ}め、実現^{じつげん}に向^むけて活^{かつ}動^{どう}する。

本人^{ほんにん}が何^{なに}を求^{もと}めているのか、面談^{めんだん}やモニタリング^{いしき}などで意^い識^{しき}していく。

(2)本人^{ほんにん}が求^{もと}める「生活^{せいかつ}」を見極^{みきわ}め、実現^{じつげん}に向^むけ活^{かつ}動^{どう}する。

本人^{ほんにん}がど^{よう}の様な生活^{せいかつ}を送^{おく}っていきたいのか、面談^{めんだん}やモニタリング^{いしき}などで意^い識^{しき}していく。

(3)「楽^{たの}しく生^いき生^いきと暮^くらせる環^{かん}境^{きやう}」を模^も索^{さく}し切^きり開^{ひら}く。

各事業所と連携をして主体的に生き生きと暮らせる環境を模索していきながら、必要な社会資源を開拓、創出していける事を目指していく。

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1)関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

信頼関係を深めるために自立支援協議会など様々な事業所と出会える場で積極的に意見交換を行う。

(2)「楽しく生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

楽しく暮らせるために何が必要か？地域の社会資源をあらためて確認し必要なものをコーディネートしていく。

5、健康に関する取り組み

・所属事業所や家庭と健康状態の情報を共有する。

・福祉機関につながっていない人や一人暮らしで利用する人などは、日頃の健康に関する状況に留意して、必要によっては通院付き添い等を行う。

6、SDGSの取り組み

・事務に係る消耗品類の無駄をなくしていく。

・リサイクル、ゴミの分別徹底と削減。

・面談などで移動の際は公共交通機関を利用する。

・節水、節電。

2023年度 就労支援事業計画

【目的】

一人ひとりが社会人として、違いを認め合い、個々の状況に応じて、就労することを通し、楽しく生きがいの持てる人生に繋げていく。

【活動内容】

1、充実した社会生活に向けた取組

*社員への対応

・本人の希望、意思、強味に注目して、ジョブマッチングを考えた就労支援をする。

・状況に応じて、職場見学、体験実習、面接等に向けて取り組む。

*就労者への対応

・状況に応じて、訪問、電話、メール等での連絡を調整する。

・本人の状況に応じて、柔軟に転職支援・生活支援をする。

・就労者やご家族へ、かたるべ会のイベントや余暇等の情報を伝える。

*新規開拓、就労先との関わり

- ・既存の求人だけではなく、様々な情報から新しい仕事を探していく。
- ・就労先では現状の仕事だけではなく、新しい仕事の可能性も考えていく。

2、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

*就労先との関わり

- ・職場訪問や連絡調整を行う。
- ・かたるべ会の行事(入社式、交流会等)のご案内をし、定期的に連絡をする。

3、健康に関する取組

*就労者への対応

個々の状況に応じて対応する。

2023年度 相互理解事業計画

【目的】

カルチャーチェンジ指針を通して、一人ひとりの違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、誰もが楽しく生き生きとしている社会を実現する。

*自主的・主体的・社会参加に向けた取組

- ・ナチュラルファースト(かたるべ会の当事者団体)が各事業所の枠を超えて活発に活動できるよう支援する。
- ・当事者の皆さんが社会に向けて思いを発信できるよう支援する。
- ・ピープルファーストの集まりに積極的に参加できるよう支援する

○ピープルファースト

1973年にアメリカで始まった知的障害者の当事者団体で各国に広がっている。

「障害者である前に人間である」という思いから、様々な活動を行っている。

日本では毎年全国大会が開催されている。

2023年度 交流事業計画

【目的】

カルチャーチェンジ指針を通して、一人ひとりの違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、誰もが楽しく生き生きとしている社会を実現する。

かつどうないよう
【活動内容】

1、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・カルチャーチェンジ指針を通して、認め合い、肯定する文化を伝える
- ・かたるべ会主催の交流会を年2～3回開催し、外部との相互理解を促進する
- ・演劇、講演、音楽等、対面とオンラインを活用し、地域や社会との交流を深める
- ・バンジョークラブの活動

バンジョー教室を開催し、一般の方も広く参加し、バンジョークラブのメンバーと音楽活動を通して交流を深めていく。

- ・てつなぎつづき、神奈川県知的障害施設団体連合会に関わり、他法人との連携をしていき、交流を深めていく。

○カルチャーチェンジ指針 ～否定される文化から、肯定する文化へ～

- (1)強みに注目し、弱みに注目しない
- (2)違いを認め合う(スキル、価値観、宗教…)
- (3)遊び心を取り入れ、楽しく、生き生きと
- (4)円滑なコミュニケーション(否定せず、肯定しあう)
- (5)挑戦！発見！新しい自分、そして社会！

ねんど しよくいんけんしゅう じ ぎょうけいかく
2023年度 職員研修事業計画

もく てき
【目 的】

職員一人ひとりの支援の質を向上させ、基本理念実現に向けて、社会に貢献できる人材の育成。また、職員同士のコミュニケーションを深めることで、違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、一人ひとりが必要とされている職場を実現していく。

かつどうないよう
【活動内容】

1、「支援」の充実に向けた取り組み

しんじんしよくいんたいしゅう
*新人職員対象

- ・採用後1ヶ月、新人職員研修で下記項目を実施する。

ざがく
【座学】

基本理念、支援に当たっての留意事項、カルチャーチェンジ指針、

愛に気付くコミュニケーション、内観、オープンダイアログ

障害者虐待防止法、差別解消法

たいけん
【体験】

日中、グループホームの各事業所を訪問する。

懇親を深めるため、若手職員との横浜日帰りツアーをする。

・採用後1～2ヶ月、各事業所で所属長・エリアマネージャーにより実施する。

法人規約・規定、法人ガイドライン、リスクマネジメント

(企画提案制度、服薬管理マニュアル、行方不明時対応、災害時行動)

GRIDY・どこキャビ、スカイプ・LINE・Zoom の使い方

障害の基礎知識、福祉施策

・外部研修

初任者研修(障害者支援センター主催 5日間)、てんかん基礎講座

・採用後随時、安全運転講習(日中活動職員対象)

個別に実施し、安全運転を意識していく。実施回数は個人の状況による。

*全職員対象

・職員全体研修(年2回)、各事業所(随時)

法人基本理念の認識、障害者への仕事・生活・余暇の支援をしていく上で、

違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、支援の質を高める。

一人ひとりが大切な人たちであり、必要とされていると実感できる研修を行う。

・救命講習(各事業所、各エリアで実施)

成人に対する心肺蘇生と AED の使用方法を主体とした講習。

2023年度 健康管理事業計画

【目的】

社員・入居者・職員を問わず、いつまでも身体・精神ともに充実した生活が送れる

ように健康面から様々なサポートを行う。

【活動内容】

1 健康診断

・第1、第2、第3かたるべ社・ジャスミン・うれしの社員——年2回

・GH入居者——年1回(各職場で対応)

・職員 日中活動・相談支援職員——年1回

・GH・短期入所職員——年2回(労働安全衛生規則による)

・GHアルバイト・ドライバー職員

(本人と相談の上実施する)

・40歳以上の社員・職員に人間ドック

(以後5年ごとに1度、人間ドックを受診する)

- ・ 40歳以上の女性社員・職員に婦人科健診
(非常勤職員は週4日以上でかたるべ会を主体として勤務されている方)

※サイクリック:東京中央クリニック:神奈川予防医学協会

- ・ アフターフォローについて

健診の結果を受けて再検査の案内および実施確認

社員・入居者・ご家族・職員間で協力してアフターフォローに当たる

2 感染予防・衛生管理

- ・ 感染予防マニュアルに従い、衛生管理を徹底する
- ・ 来客者の管理、訪問先への感染予防策実施
- ・ インフルエンザ予防接種の実施(職員・社員)
- ・ インフルエンザ・ノロウイルス等の流行については、状況に応じて対応していく
(感染拡大を防ぐため、事業所間の連携を強化する)
- ・ 衛生管理の徹底—手洗い、うがいの励行、常時マスクの着用、
アルコール手指消毒

- ・ 各事業所における自己防衛のための情報収集及び準備、対応
- ・ 衛生管理に関する職員研修

日中活動——食品管理衛生責任者講習 必要に応じて受ける
食品に関する研修に参加(食品表示法等)

GH——食品管理衛生責任者講習 外部研修必須

感性予防のために内部研修(事務局会議にて)

◎コロナウイルスの感染防止

- ・ コロナワクチン予防接種の実施(職員・社員・その他)
- ・ リーバーによる出勤前と午後の検温を実施
- ・ 抗原検査の適宜実施、実習生への来訪事前検査実施
- ・ 来訪者の管理、訪問先への感染予防策実施
- ・ 接触感染の予防

アルコールによる手指消毒・定期的に施設内の人の手が触れる場所の消毒

食事時の会話を控える、食事後にマスクを交換・清潔を保つ

空気の流れを考えた定期的換気の実施

- ・ 法人内及び家庭内でのコロナウイルス感染

かたるべ会ルールにて療養期間・在宅期間の摘要

のうこうせつしよくしゃおよ たいちようふりようしゃ けんさ じっし
濃厚接触者及び体調不良者のPCR検査の実施

にゆうきよしゃかんせん ばあい だい りようようしせつ かつよう
ホーム入居者感染の場合 第2グリーンハイツを療養施設として活用する

3 生活習慣病予防等に関する相談

- ひまん こうけつあつなど せいかつしゆうかんびようよ ぼう かん とりくみ おこな
・肥満・高血圧等、生活習慣病予防に関する取組を行う。
- ひまんたいさく うんどうめん・しょくじめん かんけいき かんれんけい
・肥満対策について(運動面・食事面サポート、関係機関連携)
- かんごし しんしん とも けんこう かん そうだん
・看護師による心身(ストレスなど)共に健康に関する相談
- いずみせんせい しょくたくい ほしのせんせい しょくたくい けんこうそうだん
・井泉先生(嘱託医)星野先生(嘱託医)による健康相談 カウンセリング

4 健康に関する取組・各事業所との連携を図る

- けんこうてき しょくじ ちゅうしょく こんだてとう えいようめん かんが
・健康的な食事(昼食の献立等 栄養面を考える)
- けんこうてき うんどう にちじょう たいそう しゅうかんか
・健康的な運動(日常の体操の習慣化)
- ざいたく けんこうすいしん ていあん
・在宅における健康推進の提案

2023年度 防火防災事業計画

【目的】

さいがい よ ち さいざま さいがい そうてい ひ び そな
災害は予知することができません。そのため様々な災害を想定した日々の備えと
ぼうか ぼうさい くんれん たいせつ しゃいん にゆうきよしゃおよ しょくいん せいめい しんたい ぼぜん
防火・防災のための訓練が大切です。社員・入居者及び職員の生命と身体の保全を
はか かんせんたいさく てってい ぼうか ぼうさいかつどう とりく
図るため、感染対策を徹底しながら防火・防災活動に取り組んでいきます。

【活動内容】

1. 防災・避難訓練の実施

しゃいん にゆうきよしゃ しょくいん さいがい じ こうどう めいかく
◎社員・入居者・職員の災害時行動を明確にする

ぼうか ぼうさい くんれん ねん かいじっし かくじぎょうしよ
○防火・防災のための訓練・・・年2回実施(各事業所ごと)

かんせんよぼう てってい ずじょうくんれん くんれん へいよう
※感染予防を徹底し、図上訓練などオンライン訓練も併用する

かいめ じしん じ ぼうさいひなん ひなんばしよ けいろうかくにん しょうかきしょうくんれん
・1回目・・・地震時の防災避難と避難場所への経路確認・消火器使用訓練

かいめ かさいつうほうくんれん しょうかきしょうくんれん
・2回目・・・火災通報訓練・消火器使用訓練

ごうどうぼうさいひなんくんれん ねん かいじっし
○OGH合同防災避難訓練・・・年1回実施(GH)

かんせんよぼう てってい うえ じっし
※感染予防を徹底した上で実施する

じしん そうてい ひなんくんれん ひなんばしよ けいろうかくにん
・地震を想定した避難訓練・避難場所への経路確認

しんすいがい ひなんくんれん ねん かいじっし がいとうじぎょうしよ
○浸水害避難訓練・・・年1回実施(該当事業所ごと)

かんせんよぼう てってい ずじょうくんれん くんれん へいよう
※感染予防を徹底し、図上訓練などオンライン訓練も併用する

しんすいがい そうてい おくないひなんくんれん ひなんばしよ けいろうかくにん
・浸水害を想定した屋内避難訓練・避難場所への経路確認

ちいき ぼうさいくんれんとう さんか ずいじ
○地域の防災訓練等への参加・・・随時

2. 防火・防災設備の点検及び備蓄品の管理

○日中活動施設(各事業所)

- ・法人自主点検…年2回実施 (リモート環境も併用する)
- ・消防署の立ち入り検査…要請に応じ随時
- ・消防設備法定点検…年2回実施 (各所轄消防署に年1回提出)
- ・ジャスミン…工藤建設による消防設備点検実施 年2回実施

○GH(各事業所)

- ・法人自主点検…年2回実施 (リモート環境も併用する)
- ・消防署の立ち入り検査…要請に応じ随時
- ・消防設備法定点検…年2回実施 (各所轄消防署に年1回提出)

○日中活動施設・GH共通

- ・防災用備蓄品の期限や内容の確認を行い適正な物を常備する
- ・災害時の情報収集のためWi-Fi環境や充電用バッテリーを常備する
- ・消費期限の近づいた非常食・非常用飲料水は、フードバンクへの寄付をおこなうなど廃棄以外の方法を検討する

3. その他

○各事業所ごとの「災害時の業務継続計画」策定

- ひまわり工房における防火管理者設置届出・消防計画作成・浸水害避難確保計画の作成

○「災害時の対策マニュアル(職員用・ご家族用)」の更新(随時)

○緊急時の連携と緊急連絡先の確認・更新(随時)

○防火管理者の設置・消防計画の作成提出(随時)

○横浜市主催の災害時連絡訓練参加(随時)

○地域の防火防災活動との連携

○AED使用研修実施(オンライン訓練併用)

○ALSOK・まもるっく・GHみまもりサポートの使用・検索研修実施

○新設事業所への防犯カメラの設置(随時)